United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

Toya-Usu UNESCO Global Geopark

洞爺湖有珠山ジオパークだより

ジオパーク通信

第 105 号
洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
洞爺湖町役場内
☎（0142）74-3015

新年度を迎えました。「ジオパーク通信」では、洞爺湖有珠山ジオパーク（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）の見どころ・楽しみどころなど、最新の情報をお知らせしていきます。

洞爺湖有珠山ジオパーク

ジオパークとは、ジオ（地球・大地）とパーク（楽しむところ）を合わせた造語で、人工的に作られたテーマパークとは異なり、もともとの大地の特徴（海、山、湖など）を保全し、観光や教育に活用している地域一帯を指します。

洞爺湖有珠山ジオパークのエリアは、伊達市･豊浦町･壮瞥町・洞爺湖町の全域です。約 48,000 人が暮らすこの地域は、ユネスコ世界ジオパークに認定されています。

ジオパークでは、地質的な見どころのほか、そこで育まれた生態系や産業、歴史文化も構成要素です。これらを一つの物語とし、地域全体を楽しんでもらうようにすることがジオパークの目的です。

代表的な見どころのひとつ、昭和新山は
1944 ～ 1945 年に生まれた新しい火山

なにがすごい地域なの？

世界の中でも、噴火を繰り返す活火山の近くに人が暮らし続けているという地域は珍しく、見どころの保全や、大地の変動を活かした教育活動が行われていることが高く評価されています。

数十年おきに噴火を繰り返してきた有珠山

約 11 万年前のカルデラ噴火でできた洞爺湖

海底火山の痕跡が見られる海岸

昭和新山の火山誕生を次世代に伝える

災害遺構散策路での減災教育

縄文時代からの人々の暮らし

ジオパークのエリア（１市３町）には、大地の見どころを楽しめる散策路があり、地域の魅力を紹介するガイド団体が活動しています。詳細は『洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会』HP をご覧ください。

洞爺湖有珠山ジオパークは、北海道伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の４つの市町の取り組みです。さまざまな活動を通して、この地域の大地の魅力を伝えていきます。